

長門さんは毎夜、仏壇の前に座っていた

洋子さん(享年76)と死に別れた俳優の長門裕之さん(同77)も、そうだった。



「毎夜、仏壇の前に座って泣きつづけていた。」

愛する妻を亡くした途端、夫が後を追いかけるケースをよく見かける。南田

男は、妻に先立たれると弱く、長門さんも引きつづけていた。「毎夜、仏壇の前に座って泣きつづけていた。」

妻に先立たれると夫は3年以内に後を追う

配偶関係別平均余命			
	全体平均	37.96	
夫40歳時	有配偶	39.06	+1.1
	未婚	30.42	-7.5
	死別	34.95	-3.0
	離別	28.72	-9.2
妻40歳時	全体平均	43.91	
	有配偶	45.28	+1.4
	未婚	37.18	-6.7
	死別	43.32	-0.6
	離別	40.49	-3.4

配偶者と死別した女性が、逆に言っても、平均余命は約10年。男性は毎夜泣くという。深いため、立ち直るのに長い時間かかるといわれている。医学博士の山本公明氏が解説する。

「男性がストレス耐性に弱く、女性に比べて回復力が高い。女性には友人や姉妹の関心を築き、夫の死を早く忘れられます。」

「60歳で連れ合いをなくし、死を最後に公の場への出席がなくなり、今年2月に脳出血で倒れ、自分も後を追いかけてしまった。」

「60歳で連れ合いをなくし、死を最後に公の場への出席がなくなり、今年2月に脳出血で倒れ、自分も後を追いかけてしまった。」

「60歳で連れ合いをなくし、死を最後に公の場への出席がなくなり、今年2月に脳出血で倒れ、自分も後を追いかけてしまった。」



「60歳で連れ合いをなくし、死を最後に公の場への出席がなくなり、今年2月に脳出血で倒れ、自分も後を追いかけてしまった。」

別居を最後に公の場への出席がなくなり、今年2月に脳出血で倒れ、自分も後を追いかけてしまった。

「60歳で連れ合いをなくし、死を最後に公の場への出席がなくなり、今年2月に脳出血で倒れ、自分も後を追いかけてしまった。」

遺品を整理しないタイプは…

「1. 夫婦の関係は千差万別である。2. 万が一死んだら、妻の死が立ちはたると安易に言うことはできません。3. 2年後の妻の後を追ってしまふ男性の傾向として、遺品の整理をしないタイプがある。」

「60歳で連れ合いをなくし、死を最後に公の場への出席がなくなり、今年2月に脳出血で倒れ、自分も後を追いかけてしまった。」